

## 第6章 注意事項

### 1. 公売システムに不具合などが生じた場合の対応

公売システムなどに不具合が生じたことにより、次に掲げる事態が発生した場合、仙北市は公売手続きを中止することがあります。

#### (1) 入札期間前

公売参加申込期間の始期に公売参加申込受付が開始されない場合、公売参加申込受付ができない状態が相当期間継続した場合、公売参加申込受付が入札開始までに終了しない場合または公売参加申込期間の終期後になされた公売参加申込を取り消すことができない場合。

#### (2) 入札期間中

入札期間の始期に入札の受付が開始されない場合、入札できない状態が相当期間継続した場合または入札の受付が入札期間の終期に終了しない場合。

#### (3) 入札期間後

せり売り形式において仙北市が入札終了後相当期間経過後も最高価申込者などを決定できない場合並びに入札形式において入札終了後相当期間経過後も開札ができない場合、追加入札が必要な場合で追加入札の開始または終了ができない場合またはくじ（自動抽選）が必要な場合でくじ（自動抽選）が適正に行えない場合。

### 2. 公売の中止および中止時の公売保証金の返還

公売参加申込開始後に公売を中止することがあります。公売財産の公開中であっても、公売にかかる差押徴収金が納付された場合などにインターネット公売を中止します。

#### (1) 特定の公売財産に係る公売中止時の公売保証金の返還

特定の公売財産の公売が中止となった場合、当該公売財産について納付された公売保証金は中止後返還します。なお、銀行振込などにより公売保証金を納付した場合、返還まで中止後4週間程度要することがあります。

#### (2) インターネット公売中止時の公売保証金の返還

インターネット公売全体が中止となった場合、公売保証金は中止後返還します。なお、銀行振込などにより公売保証金を納付した場合、返還まで中止後4週間程度要することがあります。

### 3. システム利用における禁止事項

公売システムの利用にあたり、次に掲げる行為を禁止します。

- (1) 公売システムをインターネット公売の手続き以外の目的で不正に利用すること。
- (2) 公売システムに不正にアクセスをすること。
- (3) 公売システムの管理および運営を故意に妨害すること。
- (4) 公売システムにウイルスに感染したファイルを故意に送信すること。
- (5) 法令もしくは公序良俗に違反する行為またはそのおそれのある行為をすること。

(6) その他公売システムの運用に支障を及ぼす行為またはそのおそれのある行為をすること。

#### 4. 公売参加者などに損害などが発生した場合

次に掲げる事由などにより公売参加者など（公売システムにアクセスした方、公売参加者などまたは第三者）に損害が発生した場合、仙北市はその損害の種類、程度にかかわらず責任を負いません。

- (1) 公売が中止になったこと。
- (2) 公売システムに不具合などが生じたこと。
- (3) 公売参加者など（公売システムにアクセスした方、公売参加者などまたは第三者）の使用  
する機器およびネットワークなどの不備、不調その他の理由により公売参加申込または入  
札が行えなかったこと。
- (4) 公売に参加したことに起因して、公売参加者などが使用する機器およびネットワークなど  
に不備、不調などが生じたこと。
- (5) 公売参加者などが公売保証金を自己名義（代理人の場合は代理人名義、法人の場合は法人  
代表者名義）のクレジットカード納付する場合でクレジットカード決済システムの不備に  
より、公売保証金の納付ができず公売参加申込ができなかったこと。
- (6) 公売参加者などのメールアドレスの変更や公売参加者などの使用する機器およびネットワ  
ークの不備、不調その他の理由により公売担当部署から送信される電子メールが到着しな  
かったこと。
- (7) 公売参加者など（公売システムにアクセスした方、公売参加者などまたは第三者）の発信  
もしくは受信するデータが不正アクセスおよび改変などを受けたこと。
- (8) 公売参加者など（公売システムにアクセスした方、公売参加者などまたは第三者）が、自  
身のログイン ID およびパスワードなどを紛失したこと、もしくはログイン ID およびパス  
ワードが第三者に漏えいしたこと。
- (9) 公売参加者など（公売システムにアクセスした方、公売参加者などまたは第三者）が、公  
売参加の手続きに関する権限の一部を代理人などに委任した場合において、その委任を受  
けた代理人などがした行為により被害を受けたこと。
- (10) 買受人などとなった公売参加者などが送付による公売財産の引渡しを希望した場合、輸送  
途中での事故などによって公売財産に破損、紛失などの事態がしたこと。

#### 5. 準拠法

このガイドラインには日本法が適用されるものとします。

#### 6. インターネット公売において使用する通貨、言語、時刻など

- (1) インターネット公売の手続きにおいて使用する通貨  
インターネット公売の手続きにおいて使用する通貨は日本国通貨に限り、入札価額などの  
金額は、日本国通貨により表記しなければならないものとします。
- (2) インターネット公売の手続きにおいて使用する言語  
インターネット公売の手続きにおいて使用する言語は日本語に限ります。公売システムに

において使用する文字は、JIS 第 1 第 2 水準漢字（JIS（工業標準化法（昭和 24 年法律第 185 号）第 17 条第 1 項の日本工業規格）X0208 をいいます）であるため、不動産登記簿上の表示などと異なることがあります。

(3) インターネット公売の手続きにおいて使用する時刻

インターネット公売の手続きにおいて使用する時刻は、日本国の標準時によります。

## 7. 公売参加申込期間および入札期間

公売参加申込期間および入札期間は、公売システム上の公売物件詳細画面上に示された期間となります。ただし、システムメンテナンスなどの期間を除きます。

## 8. 仙北市インターネット公売ガイドラインの改正

仙北市は、必要があると認めるときは、このガイドラインを改正することができるものとします。

なお、改正を行った場合には、仙北市は公売システム上に掲載することにより公表します。改正後のガイドラインは、公表した日以降に公売参加申込の受付を開始するインターネット公売から適用します。

## 9. リンクの制限など

仙北市が公売システム上に情報を掲載しているウェブページへのリンクについては、仙北市物件一覧のページ以外のページへの直接のリンクはできません。また、公売システム上において、仙北市が公開している情報（文章、写真、図面など）について、仙北市に無断で転載、転用することは一切できません。

## 10. その他

官公庁オークションサイトの各ウェブページ上に掲載されている情報で、仙北市が掲載したものでない情報については、仙北市インターネット公売に関する情報ではありません。